

事務事業名	市内仏像等全調査事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12418									
			所属課室	文化財課	課長名	原 一									
			所属担当	文化財	担当者名	田中大輔									
基本政策	基本計画体系	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目					
政策		文化づくりの推進		01	一般	1	0	4	0	5	0	2	0	0	4
施策		歴史・伝統文化の振興	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金											
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (18 ~ 22 年度)		法令根拠												
事業の内容	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 H18年度から5年間をかけて市内の各寺社の協力を仰ぎ仏像等の悉皆調査を行うものである。H18年度に若草地区、19年度に八田、白根、芦安地区、20年度に榊形地区、21年度に甲西の寺社に協力を求め、H22年度に補足調査及び報告書の刊行を行った。市教育委員会文化財保護審議会委員の鈴木麻里子氏を調査員に委嘱した。市内の信仰の歴史のトータルな姿を浮き彫りにすることにより、そこに生きていた人々の心を知り、先祖の豊かな精神文化に触れ、市民のふるさと意識の醸成、新たな地域のアイデンティティ創出に貢献する。この他、これまで知られていなかった新資料の発掘や文化財の保存や保管の状況を把握、万一の盗難や破損に備えたデータベースの構築などの効果が見込まれる。		事業費の主な内訳 (22年度)												
事業費の概要			項目(細節)		金額(千円)	項目(細節)		金額(千円)							
			報償金		30										
			印刷製本費		1,334										
			消耗品費		563										
						計		1,927							

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	補足調査、調査報告書の刊行
22年度活動実績	
23年度活動予定	
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市内寺社等に安置される仏像等彫刻
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	南アルプス市内の信仰や歴史、精神文化の歴史の一端を解明する。 新資料の発掘、文化財の保存や保管の状況を把握する データベースの作成により、万一の盗難や破損に備えることができる
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	市民や子どもたちが地域の歴史や成り立ちを知り、ふるさと意識や郷土愛を持つことができる。先人の残した知恵や文化を大切に思い、これを次代に伝えて行こうとする気持ちは育てる

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 総調査寺社等数	件
イ: 総調査個体件数	件
ウ:	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 対象寺社等数	件
イ: 対象想定個体件数	件
ウ:	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 調査データベースの作成状況	%
イ:	
ウ:	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 地域を知りふるさと意識や郷土愛を持っていると答えた市民の割合	%
イ: 先人の残した知恵や文化を大切に思いこれを次代に守り伝えていこうと答えた市民の割合	%

(2) 事業費・指標の推移

年間	事業費	財源内訳	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(予算・目標)	(次年度計画・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)		
タ	ル	コ	ス	国庫支出金	千円						
				県支出金	千円						
				地方債	千円						
				その他	千円						
				一般財源	千円	346	1,927				
				事業費計(A)	千円	346	1,927	0	0	0	0
				正規職員従事人数	人	1	1				
				延べ業務時間	時間	320	640				
				人件費計(B)	千円	1,428	2,855	0	0	0	0
				(A)+(B)	千円	1,774	4,782	0	0	0	0
活動指標	ア	件	41.0	146.0							
	イ	件	781.0	2,646.0							
	ウ										
対象指標	ア	件	47.0	160.0							
	イ	件	860.0	2,900.0							
	ウ										
成果指標	ア	%	67.0	91.0							
	イ										
	ウ										
上位成果指標	ア	%									
	イ	%									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併した市内の統一的な文化財保護のため、基礎的データベース作成の必要性、また仏像等文化財の盗難が頻発しており、これに対応するデータベース作成の必要性による
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	この間、市内外で仏像等の盗難が頻発しており、毎年増加傾向にある。また、廃寺や無住になる寺院があり、文化財の適切な管理や散逸等への影響が危惧される
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	このような機会がないと、自分のお寺の仏像等じっくり見ることが無かった(市民・檀家)。実際の盗難時、調査データがあったので被害届をだすことができた。犯人逮捕後の返還の際も、仏像等の所有を証明でき返還がスムーズだった。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている [内容] <input type="checkbox"/> 取り組みしていない [理由]
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	一部写真撮影を外部に委託していたがこれを廃止。年度ごとに刊行していた調査概報のページ数の縮減、廃止。協力を頂いた寺社への謝礼の削減。
H 22年度に実施した改革改善の内容	協力を頂いた寺社への謝礼(茶菓子)の省略取りやめ DTP方式による報告書刊行により、印刷製本費を圧縮

事務事業名	市内仏像等全調査事業	所属部	教育委員会	所属課	文化財課
-------	------------	-----	-------	-----	------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 【理由】
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 【理由】 保護の対象となる文化財の基礎的把握、文化財価値の周知という点から行政が行うことが妥当といえる。その後の文化財保護施策等については、市文化財保護条例等に基づき、所有者・管理者と行政が共同で行うことが望ましい。
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である 【理由】 市内の一応の調査を終えたが、諸般の事情により調査を行えなかった寺社等があり、補遺の必要性がある。
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 【理由】 写真撮影や報告書の編集などの業者委託をとりやめてきており、これ以上の削減は不可能。
	類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる 【理由と具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない 【理由】 当事業終了後は、文化財保護活用事業の一環として、仏像等に限らず、保護・保存上懸念のある文化財について基礎的な
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 【理由と影響の内容】 市内の一応の調査を終えたが、諸般の事情により調査を行えなかった寺社等があり、補遺の必要性がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない 【理由】 現時点で可能な一応の調査を終えた
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある 【理由・具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 【理由】 写真撮影や報告書の編集などの業者委託をとりやめてきており、これ以上の削減は不可能。
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある 【理由・具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 【理由】 報告書の印刷製本費を抑制するため、報告書の編集作業を印刷業者に委託せず、職員が行う(DTP)のため、削減は不可能。
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある 【理由・具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 【理由】 文化財は、市民共有の財産であるという理念もあり、報告書を広く公開するため。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	当事業により、文化財保管管理状況の把握ができ、この間新たな文化財の発見も多くあった。調査を通じ、市民が自らの身近にある文化財の価値に気付く場面も多く、改めて地域における文化財の基礎的、悉皆的調査の必要性が認識された。 また、この間2件の仏像の盗難事件が発覚したが、2件とも調査の成果に基づき、盗難届をだすことができた。また犯人逮捕後の仏像返還の際も、行政が第三者的立場で寺院の所有を証明でき、盗品の返還がスムーズに行われ、当事業の有効性が確認された。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性、の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性、の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性、の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 休止(目的妥当性、の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性、の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性、の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性、の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果水準</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		低下	<input type="checkbox"/>		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																			
	低下	<input type="checkbox"/>																				
(2) 改革改善案について 市内の一応の調査を終えたが、諸般の事情により調査を行えなかった寺社等があり、折を見て補遺の必要性がある。 当事業終了後は、文化財保護活用事業の一環として、また防犯、防災の面からも仏像等に限らず、保護・保存上懸念のある他の文化財についてもこのような基礎的な調査が行われることが強く望まれる。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 市民共有の財産である文化財の基礎的調査の必要性について周知する。	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>対象外</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	対象外	コスト削減優先度評価結果	対象外																	
成果優先度評価結果	対象外																					
コスト削減優先度評価結果	対象外																					